

お薬手帳について



お薬手帳の役割は？

お薬手帳は**お薬の記録 (薬歴)** です。

お薬と一緒に渡される**説明書 (薬品情報提供用紙)** とは少し役割が違います。

説明書 (薬品情報提供用紙)

今どんな薬をどのくらいの量をどのように飲んでいるのかがわかります。

【お薬のしおり】		お薬の名称	ゼンタック錠150mg
お薬の名称	ゼンタック錠150mg	錠剤	白色の錠剤
お薬の用法	1日2回、食後	1錠	
お薬の量	1錠		
お薬の回数	1回		

【副作用】 胃腸の分泌をおさえる作用があります。
【注意事項】 吸湿性がありますので、服用直前にPTPシートから取り出してください。
【副作用】 服用中、発熱、発疹、紅腫、かゆみ、水ぶくれ、口内炎、目の充血などの症状が現れたときは、すぐに医師にお知らせください。
服用中、発熱、発疹、体重減少などの症状が現れたときは、すぐに医師にお知らせください。
服用中、動悸、冷汗、顔面蒼白、呼吸困難、嘔吐まぶたのはれ、腫や体が重くなる、こんま感など

薬の種類と量がわかる、大切な説明書です

しかし、これだけではいつから飲んでいるかはわからない

お薬手帳

説明書 (薬品情報提供用) の内容の他に・・・

★医療機関で



- ・ **今どのようなお薬をいつから使っているか**を知ることができます
- ・ **過去にどのようなお薬をどのくらいの期間使ったか**を知ることができます

★入院する時



- ・ 入院する前に飲んでいた薬を確認することができ、入院中に使う薬との**飲み合わせを確認**するのに役立ちます

★他の医療機関にかかった時

- ・ 医師・歯科医師・薬剤師は、あなたが今使っているお薬を確認することで、**同じ効果のある薬を複数飲むこと (重複) を防ぐ**ことができます



★薬局・薬店等でくすりを買う時

- ・ 薬剤師がお薬手帳の記録を確認し、あなたに合う薬の**アドバイス**ができます

お薬手帳を持つ利点は？

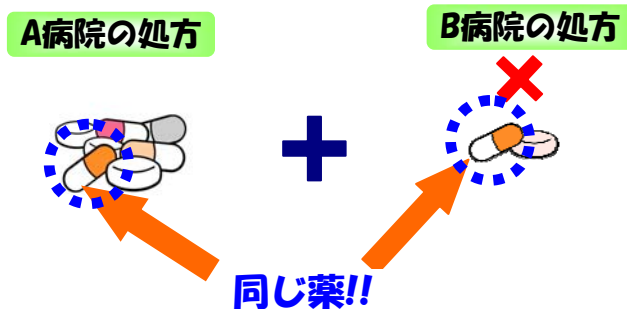
★副作用を防ぐことができる

- ・副作用が出た情報があれば、**同じお薬や同じ系統の薬を避ける**ことができます

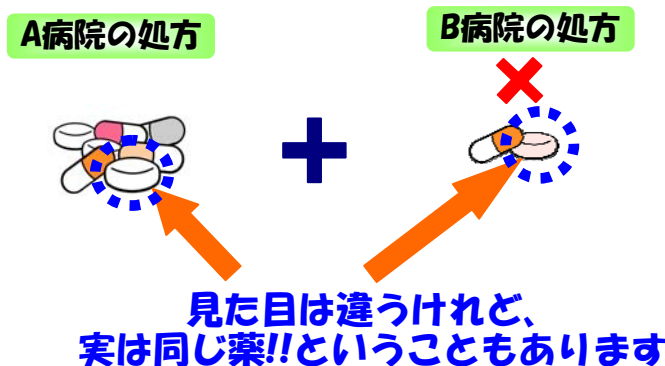
★飲み合わせの悪い薬を避けることができる

- ・飲み合わせを確認することで、お薬の効果が弱くなったり強すぎたりしてしまうのを防ぐことができます。

★同じ効果のある薬を複数飲むこと（重複）を避けることができる



- ・複数の病院や複数の科におかかりになる時、処方されたお薬の内容を確認することで、**同じおくすりを倍の量飲むことを防ぐ**ことができます。



- ・また、最近ではジュネリック医薬品(後発品)を使うことも多いため、見た目が全く違ったり、お薬の名前が全く違っていても、お薬自体の成分が全く同じであったり、効果が似ていることもあります。

- ・医師、歯科医師、薬剤師が確認することでこのようなことを避け、安全にお薬を管理することができます。

★災害時にもお薬の内容を伝えることができる

- ・災害時にお薬手帳があれば、お薬がなくてもいつも飲んでおられるお薬の内容を伝えることができます。